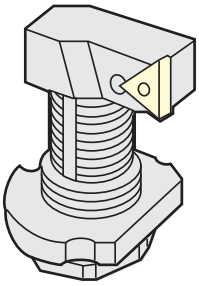
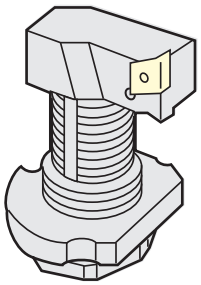
日研 ZMACアドバンストボーリングユニット部品表 NIKKEN



ZMAC-V



ZMAC-VR

＊「**ZMAC-V**」、「**ZMAC-VR**」用ユニットは旧型**ZMAC**本体に取付可能です。

日研ZMAC-Vボーリングヘッドには ZMAC-Vボーリングユニットが付いています。予備用としてご注文の際は、下表よりコードNo.でご指定下さい。
三角チップ用ヘッドと菱形チップ用ヘッドは、ユニット、カートリッジ、チップ、チップクランプボルト及びチップクランプハンドルが異なるだけで、その他の部品は共通です。
市販のISO規格チップを使用される場合は、チップメーカによりチップクランプ穴径が異なりますので、チップクランプボルトについては、別途ご相談下さい。

＊市販のISO規格チップを採用したボーリングヘッドもあります。
ZMACアドバンスト(ISO)ボーリングヘッド ☞**P.77**
＊旧型のスペアパーツは ☞**P.104**を参照下さい。

ZMAC-V スタイル	ボーリング径	ユニット	チップ	チップクランプボルト	チップクランプハンドル	ロックねじ	調整ハンドル	ユニット取付ボルト
ZMAC16 -V	**15.9～ 20.2**	M 2HZ- 16V	**3MP-C,B**	M2040	T-6	M361	M 2HZL-A	M2045
ZMAC20 -V	**19.8～ 25.2**	M 2HZ- 20V				M362	M 2HZL-B	
ZMAC25 -V	**24.8～ 32.2**	M 3HZ- 25V		M2045		M363	M 3HZL	M2577
ZMAC32 -V	**31.8～ 42.2**	M 4HZ- 32V	**4MP-C,B**	M2055		M365	M 4HZL	
ZMAC42 -V	**41.8～ 55.2**	M 5HZ- 42V	**6MP-C,B**	M2577 ＊(M2562D)	T-8	M364	M 5HZL	
ZMAC55 -V	**54.8～ 70.2**	M 5HZ- 55V				M366		
ZMAC70 -V	**69.8～ 85.2**	M 7HZ- 70V				M360	M 7HZL	M3090
ZMAC85 -V	**84.8～100.2**	M10HZ- 85V				M367	M10HZL	M4012
ZMAC100-V	**99.5～140.5**	M10HZ-100V				M368		
ZMAC140-V	**139.5～180.5**	M10HZ-140V				M369		

★ユニットに、チップは付属していません。
★＊**ダイヤのチップ(6MP-D)**を用いる場合**M2562D**となりますのでご注意下さい。

ネッキング対応等の特殊カートリッジの製作もワーク図面を添えて別途ご用命下さい。

ZMAC-VR スタイル	ボーリング径	ユニット	チップ	チップクランプボルト	チップクランプハンドル
ZMAC32 -VR	**31.8～ 42.2**	M 4HZ- 32VR	**CC06-C**	M2560	T-8
ZMAC42 -VR	**41.8～ 55.2**	M 5HZ- 42VR		M2577	
ZMAC55 -VR	**54.8～ 70.2**	M 5HZ- 55VR			
ZMAC70 -VR	**69.8～ 85.2**	M 7HZ- 70VR	**CC08-C**	M4090	T-15
ZMAC85 -VR	**84.8～100.2**	M10HZ- 85VR		M4012	
ZMAC100-VR	**99.5～140.5**	M10HZ-100VR	**CC12-C**	M5012	T-15
ZMAC140-VR	**139.5～180.5**	M10HZ-140VR			

★ユニットに、チップは付属していません。

φ42以上のユニットは、カートリッジヘッドを交換出来ます。

ボーリング径	カートリッジヘッド		ヘッドクランプボルト
41.8～ 55.2	M 5HZ- 42 CH	M 5HZ- 42RCH	M512C
54.8～ 70.2			
69.8～ 85.2	M 7HZ- 70 CH	M 7HZ- 70RCH	M625
84.8～100.2	M10HZ- 85 CH	M10HZ- 85RCH	M825
99.5～140.5	M10HZ-100 CH	M10HZ-100RCH	M835
139.5～180.5			

ヘッドの取外し
●最小径より若干大きくし、ヘッドクランプボルトを緩めて下さい。

ヘッドの取付け
●ヘッドをカートリッジに差し込み、ヘッドクランプボルトを仮締めします。
●サイドロックボルトを緩めます。
●ダイヤルリングを約0.2～0.3ミリマイナス方向に回します。
●ヘッドを強く本体サポート部に押し付けたまま、ヘッドクランプボルトを締めて下さい。